

## しょうばら縁結び事業

### 1. 事業概要

#### (1) 目的

初婚年齢や未婚率が上昇し、晩婚化・未婚化が人口減少の大きな要因となっている社会背景を踏まえ、庄原市在住あるいは結婚後庄原市内に生活の拠点を置く予定の未婚者のうち、結婚を希望する者の活動を支援し、もって対象者の定住を促進する。

#### (2) 事業対象：結婚を希望する 20 歳以上の独身者

本事業の主な対象である 20～40 代の本市の独身者は、総人口の約 1 割にあたる 3,698 名となっている。【平成 27 年国勢調査】

このうち結婚を希望する者が本事業の対象であり、令和 3 年 3 月末現在で 227 名（男性 161 名・女性 66 名）が会員登録を行っている。

※市外在住の者であっても、結婚後本市に住む意思があれば会員登録可能としており、市外在住者を含めた会員数は 292 名（男性 179 名・女性 113 名）となっている。

	総数	未婚	未婚率	有配偶	有配偶率	不詳	うち男性					うち女性						
							総数	未婚	未婚率	有配偶	有配偶率	不詳	総数	未婚	未婚率	有配偶	有配偶率	不詳
20～24歳	1,333	1,190	89%	133	10%	10	688	637	93%	43	6%	8	645	553	86%	90	14%	2
25～29歳	1,189	726	61%	457	38%	6	643	444	69%	193	30%	6	546	282	52%	264	48%	-
30～34歳	1,412	550	39%	859	61%	3	755	383	51%	371	49%	1	657	167	25%	488	74%	2
35～39歳	1,740	469	27%	1,263	73%	8	905	306	34%	594	66%	5	835	163	20%	669	80%	3
40～44歳	1,859	424	23%	1,424	77%	11	967	284	29%	675	70%	8	892	140	16%	749	84%	3
45～49歳	1,669	339	20%	1,322	79%	8	870	237	27%	628	72%	5	799	102	13%	694	87%	3
合計	9,202	3,698	40%	5,458	59%	46	4,828	2,291	47%	2,504	52%	33	4,374	1,407	32%	2,954	68%	13

※有配偶【「死別」「離別」を含む】

※平成 27 年国勢調査を基に作成

### 2. しょうばら縁結び事業の経緯

#### (1) 本市における過去の結婚支援事業について

- 平成 18 年度～平成 24 年度 「庄原市男女の出会いサポート実行委員会」：イベント実施を中心とした若者層の結婚支援
- 平成 20 年度～平成 25 年度 「ブライダルサポートセンター」：庄原市社会福祉協議会において、プロフィールカードによる紹介をする専属相談員を配置し、関係機関と協働した結婚支援
- 平成 26 年度～平成 27 年度 「しょうばら若者異業種交流会実行委員会」：庄原市に住む若しくは働く多様な業種の若者同士の交流を推進し、つながりをつくることで、若者の福利厚生に寄与するとともに、まちづくり活動への参画促進を目的に、目的に賛同し自発的に参加する個人の組織を立ち上げ、イベント等実施

#### (2) 事業立ち上げの経緯

- 出会いの場を設定するイベントだけでは成婚に結びつきにくい
- 女性の参加者の確保が難しく、特に市内在住の女性からの参加が得られにくい
- 市が直接個人の領域に介入しにくく、個人サポートが難しい

といった課題が顕在化する一方、市が取り組むことによる安心感があるという声も多く、平成 28 年度から「しょうばら縁結び事業」を外委託により展開している。

### 3. これまでの取組状況

#### ■縁結び支援体制の構築と強化

- ①縁結び支援員や縁結び応援隊員の配置と育成
- ②ホームページの運用

#### ■会員の縁結び支援

- ①お見合いの開催
- ②出会いイベントの開催



		H30	R 1	R 2
①お見合いの開催	小結び	39回【78名】	40回【80名】	17回【34名】
②出会いイベントの開催	大結び	2回【80名】	1回【40名】	1回【18名】
	中結び	6回【58名】	8回【68名】	4回【11名】

※【 】内は参加者数

- ③セミナーの開催
- ④相談会の開催

#### ■企業・団体等の結婚支援ネットワークの構築

◆成婚実績 (H28～R2) : 32組 (44名)

### 4. 課題

#### (1) 女性参加者の確保

特に市内在住女性からの参加が得られにくい状況が慢性化しており、イベント開催が困難となっている。

#### (2) ニーズにあった支援策の拡充

結婚の意思が強い会員への支援（お見合い、中結びイベント）が充実している一方、出会いの場を求めている会員への支援（大結びイベント、ゆるやかなイベント）が不足しているため、ニーズにあったバランスのとれた支援を行う必要がある。